



笑顔が広がる、輪が広がる
気軽に立ち寄れるみんなの縁側「と〜かんカフェ」

団地の中央にある介護事業所の駐車場で、月1回、オープンカフェを開いている。青いテントの下には、お年寄りから子どもまで多くの人が集い笑顔が広がる。ここで知り合いになる人、久しぶりに会う人等々、1杯100円のコーヒーを飲みながら会話を楽しむ。

運営するのは、町内の有志でつくる東観音台連合会、通称「と〜かん連合会」。

- 内 容 オープンカフェ「と〜かんカフェ」
 - ・コーヒー、クッキー、野菜、花き、婦人服、アクセサリー等の販売
 - ・介護、保険、住宅の相談、血圧の測定コーナー 等
- 実 施 日 毎月、第1日曜日（1月、2月を除く）
- 場 所 東観音台団地内の介護事業所駐車場
- 利 用 者 約80人
- 開始時期 平成21年1月（野菜、鮮魚の朝市でスタート）
- 実施主体 東観音台連合会（と〜かん連合会）



取組のステップ



介護事業所の駐車場をオープンカフェに

団地の中央にあったスーパーが撤退したことから、跡地で「と〜かん朝市」を開催していた。その後、ここに介護事業所が進出したため、駐車場を借りて「と〜かんカフェ」を開催することになった。

目印は幟と青いテント、1月、2月を除き、月1回、第一日曜日に開いている。

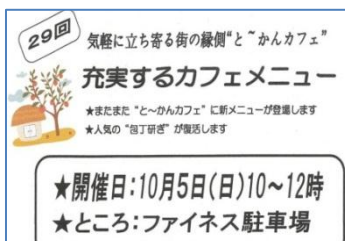


「と〜かん連合会」が運営

お世話をするのは、東観音台連合会、通称「と〜かん連合会」（P 6）。町内会役員のOBなど有志の集まりで、町内会の行事を引き受けたり、有価資源回収事業の収益金を財源にいろいろな催しを行っている。

世代を超えた交流の場として定着

訪れた人は、1杯100円のコーヒーを飲みながら会話を楽しんでいる。他にも、手作りクッキーや野菜、花き等の販売、相談コーナーなど多彩。毎回、約80人が参加し、世代を超えた交流の場として定着している。



工夫していること等

若手メンバーも参加して盛り上げ

と〜かん連合会の若手メンバー「男子会、女子会」（P 9）がスタッフとして参加し、包丁研ぎや婦人服の屋台を企画している。

課題・今後の展開

- 参加者のニーズに合ったメニュー展開、リニューアルや住み替え等への対応

みんなの声



〈住民〉

- と〜かんカフェに行くと、いろいろな人と話ができ楽しい。
- お年寄りが声をかけてくれるので子どもがとても喜ぶ。自分もうれしい。

〈主催者〉

- 自分たちが楽しめば、人は集まるという確認が持てた。活動を続けていきたい。